

令和6年度 山下地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

様々な団体が活動を再開する中、集いの場としてケアプラザだけでなく、地域交流センターやコミュニティーハウスを活用し、講座などの事業に参加しやすい環境づくりを実施していきます。

地域の団体、地域内で活動していく事業所など、顔の見える関係を構築し、地域課題のニーズや解決に向け、支援チームや推進委員で協働していきます。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	まちづくり委員会、生活支援推進委員会に参加し、地域の課題解決に向け協力していく。また、ボランティアセンターの活動へ連絡会を通し、運営や周知方法など後方支援をしていく。
☐	☒	事例検討会を行い、ケアマネジャー同士の意見交換や情報共有をすることでケアマネジャー業務の精神的な負担を軽減する。地域のサロンや行事の再開、新たな移動販売などが始まっていることを、チラシなどを活用しケアマネジャーに周知していく。
☐	☒	8050等の課題を抱える世帯が増加傾向にある。他部署と連携していくため、担当者と連絡先を明確にすることを継続し、地域課題やケースの課題を発信していくことを継続する。
☐	☒	地域活動のイベントに参加し、積極的にコミュニケーションを図り、ニーズや課題を理解した上でケアプラザで定期的な居場所づくりをする。福祉教育から地域とのつながりや見守りなど支えあいのまちづくりと一緒に構築できるように取り組む。 地域住民に障がい児者を理解し見守りや支え合いができるような交流会の機会を作る。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

地域で活動している団体の会議へ継続して参加するなかで、助成金や周知についての情報提供や課題を共有し、行政や区社協とともに支援しました。特に地区別計画推進委員会に対しては、関係機関それぞれの視点から意見をまとめ、地域住民へ課題解決に向けた内容を少しずつ共有できたのではないかと考えます。

会議やサロンでのニーズの聞き取りを行った結果、一部地域で移動販売の実施につながり、次年度は場所が変更となるも継続が決まっています。こうした地域資源についてケアプラザ内の職員も含めて、ケアマネジャーへの研修のなかで周知しました。

ケアプラザを集いの場として活用するだけでなく、小学校や地域内企業であるパルシステムの場を借りて事業を開催しました。特に山下小学校の福祉教育では、生徒と地域がふれあうことで、多世代交流につながりました。また、毎年実施しているイベントでは、利用登録団体の協力もあり、周辺の障害児者の施設も参加して楽しんだ様子が見られました。今後も、様々な世代、関係機関も含め利用していただけるよう周知していきます。

地域内のケアマネジャーが増えてきている中、ケアマネジャー支援として事例検討会を実施し、知識のアップデートだけでなく、他のケアマネジャーや機関と相談しあえる関係づくりへつながるように工夫しました。地域ケア会議では、個別レベルから包括レベルへとつなげて会議を開催し、見守りをテーマに団体や組織として実施していることやできることを共有しました。

関係する機関や団体の定期的な会議に参加し、一緒に訪問して状況を共有することで、状況が変わったときにすぐに連携できる体制を整えました。

☐ 区からのコメント

自主事業を参加対象に合わせ、魅力的に情報を発信している事に加えて、地域交流センターやコミュニティーハウスといった他の施設も活用しつつ、誰もが参加しやすい事業・環境づくりを進めており、地域のニーズや環境に寄り添った支援をいただいていると評価しています。

また、地域住民や団体、事業所との顔の見える関係構築に努めていただき、地域課題の解決に向けた協働を意識して推進しています。地区別計画推進委員会においても関係機関の意見をまとめ、地域住民へ課題解決の内容を共有する姿勢は、地域全体の連携強化に寄与していただいていると評価しています。今後も多世代交流や地域資源の活用を進め、地域全体での支援体制をさらに強化していくことを期待しています。

令和6年度山下地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	・市、区や関係団体の連絡会等での研修に参加し、各職種に必要なスキルを学ぶ。 ・公正、中立性の確保について、利用者へハートページなど使用し情報提供を行い、本人が主体となって選択できるように動く。	緊急時対応マニュアルとしてファイルを作成。 利用者の急変時や事故への対応、災害時の対応。 苦情対応や個人情報に関するマニュアル作成。マニュアルを作成し、ファイルとして確認できるようにしている。 法人が行う個人情報や人権などの職員研修に参加し伝達している。また行政や市社協が行っている研修へ必要に応じて参加している。
実績	10月25日 倫理人権、接遇に関する研修	4月19日 個人情報取り扱い研修 6月28日 災害時の対応研修 9月27日 感染症に関する研修 11月22日 事故発生時の対応研修 12月9日 虐待防止、運転者教育について研修

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	緑区内の居宅介護支援事業所に対して自立支援に基づいた適切な介護予防ケアマネジメントが作成できるよう支援している。	利用者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営めるよう支援を行うと共に、利用者の家族が身体的・精神的負担を軽減できるようケアプランを作成します。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】 事業者の担当者もしくは居宅介護支援事業者の介護支援専門員が、通常のサービス提供地域を超えて訪問・出張する必要がある場合は、実費(交通費)の支払いが必要となります。	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】 事業の実施地域を超える場合の交通費 実費を徴収 (実費とは最短の公共交通機関を利用した場合の費用の合計とする)
職員体制	常勤職員3名	常勤職員1名
契約者数	163件 直営41件 委託122件	42件

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和6年度「山下地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,241,013	100,000	20,341,013	19,353,901	987,112	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	100,000		100,000	131,100	△ 31,100	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
収入合計	20,341,013	100,000	20,441,013	19,485,001	956,012	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	14,076,013	0	14,076,013	10,829,858	3,246,155	法人本部経費は含まれていません
本俸	11,937,669		11,937,669	8,503,046	3,434,623	
社会保険料	1,200,000		1,200,000	1,313,027	△ 113,027	
手当計	800,000		800,000	869,444	△ 69,444	
健康診断費	30,000		30,000	33,465	△ 3,465	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	102,158	△ 2,158	
その他	8,344		8,344	8,718	△ 374	
事務費	530,000	0	530,000	695,643	△ 165,643	
旅費	30,000		30,000	3,350	26,650	
消耗品費	60,000		60,000	98,441	△ 38,441	
会議開い費			0	0	0	
印刷製本費	60,000		60,000	126,505	△ 66,505	
通信費	70,000		70,000	193,050	△ 123,050	
使用料及び賃借料	21,120	0	21,120	21,120	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,120		21,120	21,120	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	54,000		54,000	0	54,000	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	6,000		6,000	4,173	1,827	
職員等研修費	5,000		5,000	0	5,000	
振込手数料	5,000		5,000	3,248	1,752	
リース料	180,000		180,000	202,188	△ 22,188	
手数料	38,880		38,880	19,251	19,629	
地域協力費			0	3,897	△ 3,897	
その他			0	20,420	△ 20,420	
事業費	500,000	0	500,000	292,027	207,973	法人本部経費は含まれていません
運営協議会経費			0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	500,000		500,000	292,027	207,973	
その他			0		0	
太陽光パネル保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光パネル保守点検			0		0	
太陽光パネル修繕（追加）	0	0	0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）			0		0	
管理費	4,661,000	0	4,661,000	3,012,761	1,648,239	法人本部経費は含まれていません
光熱水費	1,825,000		1,825,000	1,173,957	651,043	
清掃費	2,244,000		2,244,000	1,310,452	933,548	
機械整備費	220,000		220,000	208,560	11,440	
設備保全費	372,000	0	372,000	128,612	243,388	
空調衛生設備保守	50,000		50,000		50,000	
消防設備保守	70,000		70,000	69,520	480	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守	60,000		60,000	59,092	908	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	192,000		192,000		192,000	
共益費			0	191,180	△ 191,180	
その他			0		0	
修繕費	474,000		474,000	305,888	168,112	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	法人本部経費は含まれていません
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	法人本部経費は含まれていません
支出合計	20,241,013	0	20,241,013	15,136,177	5,104,836	
差引	100,000	100,000	200,000	4,348,824	△ 4,148,824	

自主事業費 収入	100,000	0	100,000	131,100	△ 31,100
自主事業費 支出	500,000	0	500,000	292,027	207,973
自主事業 収支	△ 400,000	0	△ 400,000	△ 160,927	△ 239,073

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	21,120	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 21,120	0	△ 21,120	△ 21,120	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

**令和6年度「横浜市山下地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	25,460,798	18,000	25,478,798	25,098,110	380,688	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】			0	4,802,907	△ 4,802,907	横浜市より
指定管理料【生活支援】	4,802,907		4,802,907	0	4,802,907	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	18,300	△ 18,300	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
収入合計	30,417,705	18,000	30,435,705	30,073,317	362,388	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,645,705	0	26,645,705	24,557,730	2,087,975	法人本部経費は含まれていません
本俸	19,995,705		19,995,705	18,593,553	1,402,152	
社会保険料	2,805,000		2,805,000	2,355,427	449,573	
手当計	3,700,000		3,700,000	3,485,447	214,553	
健康診断費	50,000		50,000	29,175	20,825	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額	50,000		50,000	67,972	△ 17,972	
その他	45,000		45,000	26,156	18,844	
事務費	954,000	0	954,000	1,272,129	△ 318,129	法人本部経費は含まれていません
旅費	6,000		6,000	19,846	△ 13,846	
消耗品費	100,000		100,000	145,974	△ 45,974	
会議随費			0	0	0	
印刷製本費	130,000		130,000	138,500	△ 8,500	
通信費	200,000		200,000	231,416	△ 31,416	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	11,000		11,000	8,346	2,654	
職員等研修費			0	40,700	△ 40,700	
振込手数料	10,000		10,000	14,942	△ 4,942	
リース料	230,000		230,000	297,624	△ 67,624	
手数料	10,000		10,000	23,650	△ 13,650	
地域協力費			0	7,794	△ 7,794	
その他	257,000		257,000	343,337	△ 86,337	
事業費	1,184,000	0	1,184,000	622,359	561,641	法人本部経費は含まれていません
協力医	630,000		630,000	294,000	336,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000	15,000	85,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	139,158	14,842	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	174,201	△ 174,201	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	300,000		300,000	0	300,000	
その他			0		0	
管理費	1,508,000	0	1,508,000	800,860	707,140	法人本部経費は含まれていません
光熱水費	300,000		300,000	312,064	△ 12,064	
清掃費	350,000		350,000	348,348	1,652	
機械警備費	56,000		56,000	55,440	560	
設備保全費	88,000	0	88,000	85,008	2,992	
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守	20,000		20,000	18,480	1,520	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守	16,000		16,000	15,708	292	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	52,000		52,000	50,820	1,180	
共益費			0		0	
その他	714,000		714,000		714,000	
修繕費	126,000		126,000	81,312	44,688	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	法人本部経費は含まれていません
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	法人本部経費は含まれていません
支出合計	30,417,705	0	30,417,705	27,334,390	3,083,315	
差引	0	18,000	18,000	2,738,927	△ 2,720,927	

自主事業費 収入	0	0	0	18,300	△ 18,300
自主事業費 支出	554,000	0	554,000	328,359	225,641
自主事業 収支	△ 554,000	0	△ 554,000	△ 310,059	△ 243,941

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名：山下地域ケアプラザ

令和6年4月1日～令和7年3月31日

(単位：千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	6,000	6,177	-177	4,000	4,270	-270	7,000	6,831	169			0			0
	その他	0	20	-20	0	0	0	300	306	-6	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
	認定調査			0			0	300	270	30			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他		20	-20			0		36	-36			0			0
	収入合計(A)	6,000	6,197	-197	4,000	4,270	-270	7,300	7,137	163	0	0	0	0	0	0
支出	人件費			0			0	7,500	5,782	1,718			0			0
	事務費	50	45	5	50	45	5	900	1,144	-244			0			0
	事業費			0			0	70	60	10			0			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他	3,500	3,989	-489	2,500	3,020	-520	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	3,500	3,989	-489	2,500	3,020	-520			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	3,550	4,034	-484	2,550	3,065	-515	8,470	6,986	1,484	0	0	0	0	0	0
収支 (A)－(B)		2,450	2,163	287	1,450	1,205	245	-1,170	151	-1,321	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業					■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業				1：優先的に取り組みが求められる事業	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児
3：生活支援体制整備事業	4：共催（1と2）	5：共催（1と3）					4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者
6：共催（2と3）	7：共催（1と2と3）						7：その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	山つばれ塾	令和2年度	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	令和2年より講座、地域内の施設の調査、介護保険制度の勉強会などを実施。メンバーの目標「今年こそ、緑区版エンディングノートを書き上げる」をテーマに事業を継続。	1：高齢者	5	終活に関する情報や知識をグループで確認しながら、エンディングノートの内容見直し、介護サービスについての情報をアップデートしていく。	6	57
2	老活じゃらん	令和6年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	緑区エンディングノートを用いて、自身の老後の生活や不安について考えてみるきっかけ作りの場とする。	1：高齢者	5	収入と支出バランスの確認しお財布寿命を確認。医療、介護が必要となり高額となった際の制度の知識。身体機能や家族構成の変化による住み替え講座。（令和5年10月～全4回）	8	92
3	ケアマネ向け後見制度勉強会	令和6年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域アセスメントより、今後後見制度を必要とされる住民が増加すると思われるが、在宅サービスを担うケアマネジャーに対する制度理解や気軽に相談できる機会を設けていく。	6：事業者	1	足の測定・正しい靴の選び方、歩き方年1回	5	79
4	スマホ講座	令和3年度	5：共催（1と3）	2：発展させるねらい	スマートフォンを使えるようになる	1：高齢者	5	毎月1回 10:00～14:00	5	28
5	ふーふーとんとン美味	令和4年度	5：共催（1と3）	2：発展させるねらい	料理を通して友だちをつくり、献立や買い物することで認知予防にもなる。	5：地域	1	スマホフォンの基本操作 不定期開催	11	73
6	イルカの会	令和4年度	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	地域の方に認知症の理解と接し方を知り、地域で認知症の人を支えていく。	5：地域	1	第2・4木曜日午前10～11:30 場所：山下みどり台小コミュニティハウス 第2は体操講師が行い、第4木曜日の支援を行う	6	30
7	事例検討会	令和3年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	山下エリア他、要支援の委託契約をしている居宅支援事業者を対象に、適正なケアマネジメントにつながるための事例検討会を実施する。併せてケアマネ同志の繋がりを作る。	6：事業者	1	第4火曜日午前9:30～11 場所：山下地域交流センター 介護予防全般の講習	4	50
8	健康体操	令和1年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	地域の高齢者等住民向けフレイル予防を行う（ロコモや認知症予防：コグニサイズ）	5：地域	1	毎月、対象者に配布（体操脳トレカレンダー、運動・口腔機能改善含む） 120～180部/月（4人の方に配布をお願いしている）	10	107
9	頭と身体を使おう！	平成21年	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	介護予防目的に高齢者が自立した生活を送るため、定期的に開催。	5：地域	1	毎月第2金曜日10～11:30 ケアプラザ 認知症の知識の取得や予防を学ぶ	11	121
10	配布版「毎日体操・脳トレしよう」『やました元気ゼミ』	令和2年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	高齢者ご自身で毎日、介護予防を取組、身体機能低下を予防し、転倒等な軽微な事故が予防できる。また、毎月配布することで、人と人のつながりを作る	5：地域	1	第1.3木曜日午後13:30～15 ケアプラザ 介護予防体操を行う	12	14
11	GOGO脳活	令和3年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	認知症の知識予防方法や認知症の方への対応ができる	5：地域	1	第2水曜日午後1:30～15 ケアプラザ 手芸活動行う	12	217
12	のびのび体操	令和3年度	4：共催（1と2）	2：発展させるねらい	介護予防体操を行うことと同時に参加者が人と人とのつながりを作ることで、より介護予防（フレイル予防）が意識できる	5：地域	1	第3木曜日午後13:30～15 ケアプラザ チューブを使用し、筋トレを行う。各自は毎日自宅で筋トレを行い、月1回集まり、確認を行う	22	679
13	ぼちぼち倶楽部	令和5年度	4：共催（1と2）	2：発展させるねらい	それぞれ対象者に合った活動(文化)を行うことで楽しみを見出し、一人一人がつながり、通いの場として継続できる	5：地域	1, 2, 3, 4	毎週火曜日～土曜日 9:30～ ラジオ体操をする前に、チューブでストレッチや右脳体操をして笑って筋肉をほぐしてから行う	24	290
14	筋トレ講座	令和5年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	男性を対象として筋トレを行い、閉じこもりを予防する	5：地域	2	毎月第2、4木曜日 10:00～11:45 第2木曜日は、自由にひろばとして遊んでいた最後は読み聞かせをする。 第4木曜日は、こどもの成長記録としてアルバム作成も自由参加でできるひろばとして参加していただく(1回500円)	12	64
15	青空体操ひろば	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	体操を通して住民同士の繋がりを作る。	5：地域	2	毎月第1火曜日 10:15～ 1時間はベビーマッサージや親子でできる体操を行う。最後の30分は情報交換や相談できる仲間づくりを行う	229	2,819
16	ピヨピヨひろば	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て世代の居場所作り 情報交換できる場をして活用	3：養育者及び乳幼児	2	毎月第3水曜日 13:30～15:00 日本史に加え世界史の様々な謎とされる出来事も探っていく	24	535
17	ママといっしょに！Yeah！	令和5年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て世代の居場所作り 情報交換できる場をして活用	3：養育者及び乳幼児	2	作者である清少納言が自身の宮廷生活を中心に事前や人生、人間関係などについての体験や考えを思うままに書いています。とくに斉唱納言が「をかし」と感じたことを中心に取り上げていく	10	50

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他	
---	--	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
18	歴史謎解き講座	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域住民に日本文学を楽しんでもらいながら、新たな仲間づくりと新たな担い手発掘を目的	5:地域	1,7	年間4回を予定。5月、8月、11月、2月の第4水曜日 15:00～17:00	12	84
19	古典文学 枕草子	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	年齢関係なく好きな方が集まるので長く学び合う仲間づくりを行う。また地域活動へ参加する仕組みの啓発を行い、人材の育成を行う。	5:地域	2	カラカラくねくね。乳酸菌飲料の空容器をつなげて、くねくね動くスネークを作ってみよう！へびについてのクイズにも挑戦してみよう	20	183
20	やまケア学習室	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	誰もが勉強する環境が与えられている義務教育課程において、塾ではなく山下地区にいたる大学生がボランティアを行いながら学校COOといっしょに中学生の居場所を確保する	4:子ども・青少年	2	7/31 低学年:竹ボックリとキーホルダー8/5 高学年:水鉄砲 愛護会からは今後北八朔公園での活動を皆さんに案内	12	186
21	みんなでハッピースロー	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	事業所同士のつながりを強化し災害時などの対策や地域情報を共有する目的。	2:障害児・者	1	認知症の特徴を知る。高齢者や認知症など介護を必要としている人への接し方を場面ごとに話をする。	6	156
22	脳トレで美文字講座	令和6年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	字を書くことが脳トレにもつながり、姿勢や集中力を身に付ける。	5:地域	1, 3, 4, 6	ケアプラザ周辺の障がい児者施設の作品を展示し、期間中にスポーツのポッチャを通して地域の方や事業所同士のつながりが出来るように行った。展覧会は11/15～11/30の15日間行った。実際に作品を手にとって見れるように販売も行った	7	62
23	小学生向け認知症サポーター養成講座	令和5年度	4:共催（1と2）	1:優先的に取り組み	認知症がどんな病気か知る。認知症の人の気持ちを理解し、どのように接したら良いか学ぶ。	4:子ども・青少年	7	認知症の方の気持ちを理解し寄り添えるような声掛けが出来るように、アニメーションの動画を配信しその後キャラバンメイトの方々に演技をしてもらった	0	0
24	中学生向け認知症サポーター養成講座	令和5年度	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	認知症を理解し、地域の見守りを一緒に行えるように学ぶ	4:子ども・青少年	7	認知症の方の気持ちを理解し寄り添えるような声掛けが出来るように、アニメーションの動画を配信しその後キャラバンメイトの方々に演技をしてもらった	0	0
25	一般向け認知症サポーター養成講座	令和5年度	6:共催（2と3）	1:優先的に取り組み	認知症を理解し、地域の見守りを一緒に行えるように学	5:地域	7	認知症の方の気持ちを理解し寄り添えるような声掛けが出来るように、アニメーションの動画を配信しその後キャラバンメイトの方々に演技をしてもらった	2	34